

## 中学校 英語科シラバス

### 3年間のねらい 学習目標

「英語を学びたい。英語で学びたい。」という積極的な態度を身につけさせながら、英語コミュニケーション能力の育成及び国際社会において英語を情報発信・受信の道具として活用できる人材の育成を目指す。

学年	第1学年	教科書	検定教科書 (New Crown)
		副教材	Birdland Junior English I, Birdland Junior English I WORKBOOK

### 学習到達目標

英語に対する興味・関心を引き出し、異なる言語や文化に触れることによって、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を身につける。

1. 自然な英語の発音を身につけ、区別できるようになる。
2. 自分のことや家族の事柄について表現できるようになる。
3. 日常生活における簡単な内容の会話を聞き、理解できるようになる。
4. 簡単な読み物を読み、理解することができるようになる。
5. 簡単なメモや文章を書くことができるようになる。

### 学習方法

1. 授業を大切にす。授業中に積極的に英語を使うように心掛ける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. ワークブックなどの家庭学習にも励み、積極的に復習する姿勢を身につける。
4. 小テスト等の学習を行い、語彙や文法事項の定着を図る。
5. 自然な英語の速さに慣れるために、付属のCDを積極的に活用する。

### 年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週4時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. アルファベット  2. 人称代名詞  3. be 動詞  4. 冠詞 5. 形容詞  6. 指示代名詞 ・ this ・ that  7. 複数形  8. 一般動詞 ・ 第一人称の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットを読めるようになる</li> <li>・ アルファベットを書けるようになる</li> <li>・ ピリオド、コンマ等の使い方を理解する</li> <li>・ 発音の基礎を身につける</li> <li>・ 人称代名詞を理解する</li> <li>・ 人称代名詞を使い分けられるようになる</li> <li>・ 主語によって be 動詞を使い分けられるようになる</li> <li>・ 短縮形を理解し、使えるようになる</li> <li>・ 否定文を作れるようになる</li> <li>・ 疑問文を作れるようになる</li> <li>・ 冠詞 a と an を使い分けられるようになる</li> <li>・ 形容詞の使い方を理解する</li> <li>・ 冠詞と形容詞の語順を把握する</li> <li>・ 指示代名詞 this と that の違いを理解する</li> <li>・ 指示代名詞を使った文章を作れるようになる</li> <li>・ 複数形の作り方を理解する</li> <li>・ 複数形の人称代名詞の作り方を理解する</li> <li>・ 指示代名詞・指示形容詞の複数形を理解する</li> <li>・ be 動詞と一般動詞の使い分けができるようになる</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語への関心・意欲・態度</li> <li>・ 英語を聞く力・話す力・読む力・書く力</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の成績</li> <li>2. 学習態度の平常点</li> </ol> <p>(1) 授業時などの学習過程で、評価の観点について評価する</p> <p>(2) 提出物や小テスト・復習テストの成績などを評価する</p> <p>(1)(2)を総合的に評価する</p> <p><b>【補講】</b></p> <p>復習テスト・定期考査等の成績不振者を対象に、以下の補講を実施する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二人称の場合</li> </ul> <p>9. 所有格と目的格</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動詞と目的語の関係を把握する</li> <li>・ 否定文の表し方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 否定の短縮形を理解し、使えるようになる</li> <li>・ 疑問文の作り方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 所有格と目的格の使い分けができるようになる</li> </ul>	<p>(1) 週 1 回、平日の 7 限目 (2) 長期休暇中 約 50 名を対象に実施するが、時により変動する場合がある。 また、(1)(2)以外にも必要に応じて補講、追試等を実施する場合がある。</p>
<p>2 学 期</p>	<p>1. 辞書の使い方</p> <p>2. 一般動詞の使い方 ・ 第三人称の場合</p> <p>3. 定冠詞</p> <p>4. 副詞</p> <p>5. 疑問詞 ・ who, what ・ or ・ what+名詞</p> <p>6. 名詞</p> <p>7. 存在の表し方</p> <p>8. 時の表し方</p> <p>9. 疑問詞 ・ when と where ・ whose と which ・ How ~?</p> <p>10. 所有代名詞</p> <p>11. 現在進行形</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞書の使い方を学ぶ</li> <li>・ 辞書を活用して、単語を増やす力を付ける</li> <li>・ 動詞の語尾変化を理解する (三人称単数現在)</li> <li>・ 否定文の表し方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 否定の短縮形を理解し、使えるようになる</li> <li>・ 疑問文の作り方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 冠詞 a, an と定冠詞 the の使い分けができるようになる</li> <li>・ 副詞の使い方を理解する</li> <li>・ 文中での副詞の位置が分かるようになる</li> <li>・ 頻度を表す副詞の使い方を理解し、使えるようになる</li> <li>・ who, what を使った疑問文の作り方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ or を使う疑問文と答え方を理解する</li> <li>・ 時刻の尋ね方と答え方を理解する</li> <li>・ it の特別な使い方を知る</li> <li>・ 名詞の種類と数え方を理解する</li> <li>・ 数えられる名詞と数えられない名詞の使い分けができるようになる</li> <li>・ 存在の表し方を理解する</li> <li>・ 前置詞(in, on, at, by, under 等)を使い分けられるようになる</li> <li>・ 時間・季節・月の表し方を理解する</li> <li>・ 前置詞(at, in, on, after, before 等)を使い分けられるようになる</li> <li>・ 疑問詞 when, where を使った文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 疑問詞 whose と which を使った文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ How many ~? や How old~?で始まる文章とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 所有代名詞の変化を理解する</li> <li>・ 現在進行形の内容を理解する</li> <li>・ 現在進行形の作り方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 現在進行形の否定文、疑問文の表し方とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	<p>1 学期と同様</p>

	<p>1 2. 命令文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>命令</li> <li>禁止</li> <li>提案、勧誘</li> </ul> <p>1 3. 未来</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>be going to~</li> <li>進行形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形と現在進行形の違いを把握する</li> <li>命令文の作り方を理解する</li> <li>禁止の命令文の作り方を理解する</li> <li>提案や勧誘の言い方(Let' s~, Let' s not~.)を理解する</li> <li>be going to ~と進行形を用いた、近い未来・予定の表し方を理解し、英作できるようになる</li> <li>否定文の表し方を理解し、英作できるようになる</li> <li>疑問文の表し方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	
3 学 期	<p>1. 助動詞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>can (能力・可能)</li> <li>may (許可)</li> <li>must と have to (義務)</li> </ul> <p>2. 過去形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞</li> <li>一般動詞</li> </ul> <p>3. 疑問詞と語順</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞の概念を理解する</li> <li>助動詞の肯定文、否定文、疑問文とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>意味に応じて、助動詞の使い分けができるようになる</li> <li>be 動詞の過去形を理解し、英作できるようになる</li> <li>be 動詞の過去形の短縮形を理解し、使えるようになる</li> <li>規則動詞を用いた一般動詞の過去形を理解する</li> <li>不規則動詞を用いた一般動詞の過去形を理解する</li> <li>規則動詞と不規則動詞の違いを理解する</li> <li>不規則動詞の活用を覚える</li> <li>過去形の否定文、疑問文とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>疑問詞が主語の場合の疑問文とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	1 学期と同様

学 年	第 2 学年	教科書	検定教科書 (New Crown)
		副教材	Birdland Junior English I II, Birdland Junior English I II WORKBOOK

### 学習到達目標

英語に対する興味・関心を高めながら、言語や文化に対する理解を深め、習った文法項目を使ってコミュニケーションを実践する力を身につける。

1. 自然な英語の発音で、会話ができるようになる。
2. 自分の考えや意見を表現することができるようになる。
3. 学校生活や地域での実生活において、実用的な英語で表現できるようになる。
4. 簡単な文章や、掲示・指示を理解することができるようになる。
5. 身の周りの出来事を英語で書くことができるようになる。
6. 英検 4 級を受験する。

### 学習方法

1. 授業を大切にす。授業中に積極的に英語を使うように心がける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. 復習を大切にし、ワークブックなどの家庭学習にも励む。また、指示された場合には予習も行い、積極的に授業に参加する。

4. 小テスト等の学習に取り組むことで、語彙や文法事項の定着を図る。  
 5. 自然な速さの英語に慣れるために、付属のCDを積極的に活用する。

**年間シラバス** (1年間の学習予定表)  
 <週5時間(うち1時間はオーラル)>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 過去形の復習  2. there 構文 ・現在形 ・過去形  3. how を使う疑問文  4. 形容詞と副詞 5. 比較表現 (1) ・比較級  6. 比較表現 (2) ・最上級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ be 動詞、一般動詞の過去形の復習をし、定着をはかる</li> <li>・ there を使った構文(現在形・過去形)を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ there 構文の否定、疑問の表し方とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ How much / often / long ~? 等の疑問文を理解し、使い分けられるようになる</li> <li>・ 量、回数、頻度の表し方を理解し、疑問文に適切に答えられるようになる</li> <li>・ 形容詞と副詞の違いを理解する</li> <li>・ 比較級の表現を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 比較級を用いた否定、疑問の表し方とその答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ who / which と比較級を用いた疑問文と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 最上級を用いた比較表現を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 最上級を用いた疑問の表し方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語への関心・意欲・態度</li> <li>・ 英語を聞く力・話す力・読む力・書く力</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の成績</li> <li>2. 学習態度の平常点</li> </ol> <p>(1) 授業時などの学習過程で、評価の観点について評価する</p> <p>(2) 提出物や小テスト・復習テストの成績などを評価する</p> <p>(1)(2)を総合的に評価する</p> <p><b>【補講】</b></p> <p>復習テスト・定期考査等の成績不振者を対象に、以下の補講を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 週1回、平日の7限目</li> <li>(2) 長期休暇中</li> </ol> <p>約50名を対象に実施するが、時により変動する場合がある。</p> <p>また、(1)(2)以外にも必要に応じて補講、追試等を実施する場合がある</p>
2 学期	1. 助動詞 ・ will (未来・依頼) ・ shall (提案)  2. 付加疑問文  3. SVC の文章  4. 不定詞 ・ 名詞的用法 ・ 形容詞的用法 ・ 副詞的用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習の助動詞を復習する</li> <li>・ 助動詞 will の使い方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 助動詞 shall の使い方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ have to と don't have to の違いを理解する</li> <li>・ 肯定、否定、命令の付加疑問文を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 動詞 become, look, sound, get を用いた SVC 文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 名詞的用法を理解し、英作できるようになる</li> <li>・ 副詞的用法を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	1学期と同様

	<p>5. 否定の疑問文</p> <p>6. 命令文+and, or</p> <p>7. 従属接続詞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時 when / while / before / after</li> <li>・理由 because / since / as</li> <li>・条件 if / unless</li> <li>・譲歩 though / although</li> </ul> <p>8. 再帰代名詞</p> <p>9. 不定詞の形式主語</p> <p>10. 不定詞 SV0 + to V</p> <p>11. 比較表現 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原級</li> <li>・注意すべき表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞的用法を理解し、英作できるようになる</li> <li>・不定詞の3つの用法を理解する</li> <li>・否定の疑問文の作り方と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・命令文, and ~. の文章を理解する</li> <li>・命令文, or ~. の文章を理解する</li> <li>・従属接続詞を理解する</li> <li>・内容に応じて、適切な従属接続詞を使えるようになる</li> <li>・目的語として使う再帰代名詞を理解する</li> <li>・強調として使う再帰代名詞を理解する</li> <li>・意味上の主語 it を理解し、英作できるようになる</li> <li>・tell, want, ask + 0 + to -V の文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>・tell, want, ask + 0 + not to-V の文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>・原級を用いた比較表現を理解し、英作できるようになる</li> <li>・比較級、最上級の注意すべき表現を理解する</li> </ul>	
3 学 期	<p>1. 動詞と文型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SV00</li> <li>・SVOC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・give 型の SV00 を理解し、英作できるようになる</li> <li>・buy 型の SV00 を理解し、英作できるようになる</li> <li>・SVO + to / for ~. を理解し、英作できるようになる</li> <li>・SVOC の形を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	1 学期と同様

## 中2オーラル

### 学習到達目標

- ・積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする姿勢を育てる
- ・学んだ文法事項を生かし会話をしながら、その定着を図る
- ・英語で発表することに慣れる

### 年間シラバス

<週1時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学 期	<p>1. クラスルームイングリッシュ</p> <p>2. 自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中で積極的に英語を話すことの大切さを理解する</li> <li>・クラスルームイングリッシュを復習し、より積極的に英語を話すように心掛ける</li> <li>・自分のことを英語で説明することができる</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語への関心・意欲・態度</li> <li>・英語を聞く力・話す力・読む力・書</li> </ul>

	<p>3. 中1の文法事項の復習</p> <p>4. 場面の説明、状況の説明 ・現在進行形</p> <p>5. 予定の言い方 ・未来の表現 ・助動詞</p> <p>6. 過去の出来事・状況の言い方 ・動詞の過去形</p> <p>7. 情報を伝える ・there構文</p> <p>8. 日常生活について ・頻度を表す副詞</p> <p>9. show &amp; tell (プレゼンテーション)</p>	<p>ようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞を使った文等、中1で習った文法事項の総復習をしながら、様々な会話練習を行い、定着を図る</li> <li>・現在進行形を用いて、場面の説明や状況の説明ができるようになる</li> <li>・未来の表現、助動詞を使った文章を用いて、予定を言えるようになる</li> <li>・動詞の過去形を用いて、過去の出来事や状況が説明できるようになる</li> <li>・there構文を用いて、情報を伝えることができるようになる</li> <li>・頻度を表す副詞を用いて、日常生活について話せるようになる</li> <li>・品物を見せながら、説明する英語力を身につける</li> <li>・英語で発表することに慣れる</li> <li>・発音や速さに気をつけながら、英語を話す</li> <li>・自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えられるようになる</li> </ul>	<p>く力を総合的に判断するが、特に聞く力と話す力に重点を置く</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査やプレゼンテーションの成績</li> <li>2. 学習態度の平常点</li> </ol> <p>(1) 授業時などの学習過程で、評価の観点について評価する</p> <p>(2) 提出物の成績などを評価する</p> <p>(1)(2)を総合的に評価する</p>
2 学 期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夏休みの出来事 ・会話練習 ・プレゼンテーション</li> <li>2. いろいろな質問 ・比較級、最上級</li> <li>3. 依頼や勧誘 ・助動詞</li> <li>4. 確認の仕方 ・付加疑問文</li> <li>5. 修学旅行の思い出 ・プレゼンテーション</li> <li>6. 他人のことや状況を見て述べる表現と感想の言い方 ・become, sound, look, get等を用いた文章</li> <li>7. 趣味や希望、目的の言い方 ・不定詞</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に起こった出来事を英語で表現できるようになる</li> <li>・積極的に会話することを心がける</li> <li>・長く続く会話ができるようになる</li> <li>・人前で英語を話すことに慣れる</li> <li>・比較級と最上級を用いて、質問ができるようになる</li> <li>・助動詞を用いて、依頼や勧誘ができるようになる</li> <li>・付加疑問文を用いて、相手の言った内容を確認できるようになる</li> <li>・修学旅行中に、自分に起こった出来事や感想を、英語で表現できるようになる</li> <li>・人前で英語を話し、自分の意見をしっかり言えるようになる</li> <li>・become, sound, look, get等を使った文章を使いながら、説明する力をつける</li> <li>・相手の話を聞いて、感想を言うことができるようになる</li> <li>・不定詞を用いた文章を使いながら、趣味や希望、目的などを話せるようになる</li> </ul>	1学期と同様
3 学 期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冬休みの出来事 ・会話練習</li> <li>2. 状況を説明する ・比較表現</li> <li>3. スピーチコンテストの練習</li> <li>4. スピーチコンテストの実施</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休み中に自分に起こった出来事を英語で表現できるようになる</li> <li>・積極的に長く続く会話ができるようになる</li> <li>・原級を用いた比較表現を使いながら、与えられた状況を相手に的確に伝えられるようになる</li> <li>・人前で自然な速さで英語を話すことができるようになる</li> <li>・感情を込めて英語を話すことができるようになる</li> </ul>	1学期と同様

学年	第3学年	教科書	検定教科書 (New Crown)
		副教材	Birdland Junior EnglishⅡ, Birdland Junior EnglishⅡ WORKBOOK

### 学習到達目標

第二学年までに培ってきた英語に対する興味・関心を生かし、様々な場面での言語活動につなげていく力を身につける。

1. 自然な英語の発音で、場面に応じた対応ができるようになる。
2. 相手の話を理解した上で、それに対する自分の考えや意見を表現することができるようになる。
3. 既習の文法項目や語彙を使用し、文の構造を理解した上で英語を使えるようになる。
4. まとまりのある文章を読み、理解することができるようになる。
5. 社会での出来事に対する自分の意見を文章にすることができるようになる。
6. 英検3級を受験する。

### 学習方法

1. 授業を大切にす。授業中に積極的に英語を使うように心がける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. 予習復習を積極的に行い、自ら問題意識を持って授業に臨む。
4. 小テスト等の学習に取り組むことで、既習事項の定着を図る。
5. 自然な速さの英語に慣れるために、付属のCD以外にも、ニュースやラジオなど、英語に触れる機会を増やし、表現力の向上につなげる。

### 年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週5時間 (うち1時間はオーラル)>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 現在完了 ・一般動詞 ・be 動詞  2. 現在完了進行形 3. 受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了の概念を理解する</li> <li>・完了・結果・継続・経験の4つの用法を理解し、その違いが分かるようになる</li> <li>・現在完了の肯定文、否定文、疑問文を理解し、英作できるようになる</li> <li>・疑問詞を使う疑問文と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・現在完了と共に使う表現を理解し、使い分けられるようになる</li> <li>・gone と been の使い分けができるようになる</li> <li>・現在完了進行形を理解する</li> <li>・受動態の概念を理解する</li> <li>・受動態の肯定、否定、疑問とその答え方の表し方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・wh 疑問文を使った疑問文と答え方を理解し、英作できるようになる</li> <li>・by 以外の前置詞を使う受動態を理解する</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語への関心・意欲・態度</li> <li>・英語を聞く力・話す力・読む力・書く力</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の成績</li> <li>2. 学習態度の平常点</li> </ol> <p>(1) 授業時などの学習過程で、評価の観点について評価する</p> <p>(2) 提出物や小テスト・復習テストの成績などを評価する</p> <p>(1)(2)を総合的に評価する</p> <p><b>【補講】</b></p> <p>復習テスト・定期考査等の成績不振者を対象に、以下の補講を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 週1回、平日の7限目</li> <li>(2) 長期休暇中</li> </ol> <p>約50名を対象に実施するが、時により変動する場合</p>

			がある。 また、(1)(2)以外にも必要に応じて補講、追試等を実施する場合がある
2 学 期	<p>1. 関係代名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前置修飾と後置修飾</li> <li>主格</li> <li>目的格</li> <li>所有格</li> <li>that</li> <li>限定用法と継続用法</li> </ul> <p>2. 動名詞</p> <p>3. 不定詞と動名詞</p> <p>4. 使役動詞</p> <p>5. 関係代名詞 what</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な修飾の仕方を理解し、日本語との修飾の仕方の違いを把握する</li> <li>関係代名詞の概念を理解する</li> <li>関係代名詞の主格・目的格・所有格の違いを把握する</li> <li>関係代名詞の使い分けができるようになる</li> <li>関係代名詞を使った文章を作れるようになる</li> <li>関係代名詞の限定用法と継続用法を理解する</li> <li>動名詞の概念を理解する</li> <li>主語、補語、目的語としての動名詞を理解し、英作できるようになる</li> <li>動名詞を用いた慣用表現を理解する</li> <li>不定詞の示す時間と動名詞の示す時間を理解する</li> <li>不定詞と動名詞の使い分けができるようになる</li> <li>make / let + 0 + 原形不定詞の文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>関係代名詞 what と疑問詞 what の違いを理解する</li> <li>関係代名詞 what を用いた文章を英作できるようになる</li> </ul>	1学期と同様
3 学 期	<p>1. 不定詞を用いた表現</p> <p>2. 名詞節</p> <p>3. 程度または結果を表す不定詞を含む慣用表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問詞 + to V の文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>形容詞を修飾する to V を理解し、英作できるようになる</li> <li>that 節を理解する</li> <li>間接疑問文を理解し、英作できるようになる</li> <li>主語となる名詞節と形式主語 it を理解し、英作できるようになる</li> <li>so ~ that …の文章を理解し、英作できるようになる</li> <li>too ~ to …の文章を理解し、英作できるようになる</li> </ul>	1学期と同様

### 中3 オーラル

#### 学習到達目標

- 英語のみが話される環境に慣れながら、自分の思っていることを的確に英語で相手に伝えることができるようになる
- 積極的に常に英語で会話しようとする姿勢を身につける
- 既習の文法事項を駆使しながら、会話を続けられるようになる
- 英語で発表することに慣れる



年間シラバス

<週 1 時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 自己紹介  2. クラスルームイングリッシュ  3. 様々な会話練習  4. プレゼンテーション ・グループ  5. インタビューテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に英語を話すことを心がける</li> <li>・自分のことを詳しく英語で話せるようになる</li> <li>・相手の話した内容に質問し、会話を繰り広げられるようになる</li> <li>・より複雑なクラスルームイングリッシュを把握し、理解する。</li> <li>・積極的に英語を話すことの大切さを理解する</li> <li>・いろいろな状況に慣れ、状況に合った英語を話せるようになる</li> <li>・自分の持っている英語力を駆使して、自分の思いを伝える努力をする</li> <li>・中2までの既習の文法事項の復習を会話の中で行う</li> <li>・現在完了等、習っている文法項目の復習を会話の中で行い、定着を図る</li> <li>・既習の表現を用いてスキットを考える</li> <li>・グループで協力しながら、スキットを工夫する</li> <li>・感情を込めて、英語を話すことを心がける</li> <li>・ネイティブの先生と1対1で会話をする</li> <li>・決められたテーマに応じて、会話をする力をつける</li> <li>・臨機応変に対応する英語力をつける</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語への関心・意欲・態度</li> <li>・英語を聞く力・話す力・読む力・書く力を総合的に判断するが、特に聞く力と話す力に重点を置く</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査やプレゼンテーション、インタビューテストの成績</li> <li>2. 学習態度の平常点</li> </ol> <p>(1) 授業時などの学習過程で、評価の観点について評価する</p> <p>(2) 提出物の成績などを評価する</p> <p>(1)(2)を総合的に評価する</p>
2 学期	1. 夏休みの出来事 ・会話練習 ・プレゼンテーション  2. 様々な会話練習  3. show & tell ・プレゼンテーション  4. インタビューテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に、自分に起こった出来事を英語で表現できるようになる</li> <li>・長い会話ができるようになる</li> <li>・人前で英語を自然に話せるようになる</li> <li>・積極的に英語を話すことを心がける</li> <li>・習っている文法事項を使いながら、発展的な会話をする</li> <li>・説明力や感情を込めて話す英語力をつける</li> <li>・分かりやすく、興味を持ってもらえるような発表ができるようになる</li> <li>・ネイティブの先生と1対1で会話をする</li> <li>・決められたテーマに応じて、会話をする力をつける</li> <li>・臨機応変に対応する英語力をつける</li> </ul>	1 学期と同様
3 学期	1. スピーチコンテストの練習  2. インタビューテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの組み立てを理解する</li> <li>・決められたテーマのスピーチを考え、内容を工夫する</li> <li>・発音や速さに気をつける</li> <li>・ネイティブの先生と1対1で会話をする</li> <li>・決められたテーマに応じて、会話をする力を身につける</li> </ul>	1 学期と同様

	3. スピーチコンテストの実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨機応変に対応する英語力をつける</li><li>・人前で自然な速さで英語を話す</li><li>・感情を込めてスピーチをする</li></ul>	
--	-----------------	--	--